

令和8年度 第1回授業参観・保護者会資料



未来につながる 持続可能な 広州日本人学校の創造

～ これまで そして、これから ～

令和8年4月25日

広州日本人学校

校長 大久 耕



未来につながる 持続可能な 広州日本人学校の創造

未来に学ぶ子供たちへの財産として

いま：この学校に来てよかった（私の「母校」です）
ここで学べてうれしかった
（広州で学んでいる子供たちが誇りに思える学校）

これから：広州には、素晴らしい日本人学校がある
「更広州 更世界」（広州から世界へ：グローバル人材の育つ場所）

今年度の概要 ～令和8年4月25日現在～



児童生徒数

小学部	257名
中学部	64名
合 計	321名

学級数

小学部	13学級
中学部	3学級
合 計	16学級



教職員数

- 教育職（常勤）
30名
(管理職・養護教諭を含む)
- 教育職(非常勤)
4名
- 事務職
5名
- 合 計** **39名**

日本人学校設置の目的（私たちの使命）



学びの保障

- 在留邦人の子の教育を受ける機会の創出と確保

日本国憲法第26条【教育を受ける権利】の確保

国内同等の教育環境整備

- 国内の学校と同等の教育環境水準の確保と提供

特色ある教育活動

- 多文化尊重と我が国に対する諸外国からの理解増進

グローバル人材の育成



自ら学び 個性豊かに
国際社会に生きる
児童・生徒の育成

- (知) 自ら 考え 進んで学力の向上に取り組む子
- (徳) 自ら ちがいを認め合い 共に生きていく子
- (体) 自ら 健康と安全に気を付け たくましく生きていく子



めざす児童・生徒像

グローバル人材の育成に向けて



グローバル人材の育成

- 日本人としてのアイデンティティを保ち 多様な言語 文化 宗教等の中でコミュニケーション能力と協調性 新しい価値を創造する能力等をもち 社会に貢献できる人材の育成

- 主体的・対話的で深い学びを通して 広く思考できる力
- 他者（言語 文化 宗教等）と 共生できる力
- 厳しい環境の中でも 心身の健康を保ち活躍できる力





「五つの愛（合い）」ある教育活動

1. 子どもと教師とのつながりを大切にする。
（向き合い）
2. 子どもと授業とのつながりを大切にする。
（学び合い）
3. 子ども同士のつながりを大切にする。
（高め合い）
4. 子どもと保護者・日本人社会とのつながりを大切にする。（付き合い）
5. 子どもと中国とのつながりを大切にする。
（関わり合い）

⇒ 人とのかかわりをとおして成長できるように

「五つの愛（合い）」を育む六つの視点



1. 確かな「学力の向上」
2. 異文化と共生できる資質や能力の育成
3. 道徳教育の充実
4. 健康管理能力・体力の向上
5. 現地社会・保護者から「信頼される」学校
6. 教育環境の整備



「五つの愛（合い）」を育む六つの視点



1. 確かな「学力の向上」
2. 異文化と共生できる資質や能力の育成
3. 道徳教育の充実
4. 健康管理能力・体力の向上
5. 現地社会・保護者から「信頼される」学校
6. 教育環境の整備

- 児童生徒から「愛される学校」
- 「安全・安心な学校」
- 『選ばれる学校』としての価値創出



日本人コミュニティ・現地社会・保護者から「信頼される」学校



児童生徒から『愛される学校』

- ◆ 学べることの幸せ
- ◆ 学ぶ場所のあることの幸せ
- ◆ 「母校」と呼んでももらえるように



『安全・安心な学校』

- ◆ どのような状況下でも安心して通える場所に
- ◆ 充実した毎日が送れるように



『選ばれる学校』としての価値創出

順調な発展期からの転換

- ◆ 「拡大」の段階から「維持」の段階へ
- ⇒ 日本人共有の財産として
広州日本人学校を守り抜く

(参考) 登下校時の送迎、引き渡し等に関する基準



	レベル0 通常時	レベル1 注意が必要と 判断される場合	レベル2 十分な注意が必要で 教職員の配置が必要	レベル3 相当な注意が必要でバスの 運行が難しい場合など
登 校 (小学部)	保護者同伴	保護者同伴	保護者同伴 (教員乗車)	休 校 (※オンライン授業)
登 校 (中学部)				
下 校 (小学部)	保護者迎え	保護者迎え	保護者引き渡し (教員乗車)	学校留置き (保護者迎え)
下 校 (中学部)	迎え不要	保護者迎え◆		
備 考		◆バス停ごとの対応可	原則、親族に限定	原則、親族に限定

※ 令和6年9月24日 通学安全委員会

(参考) 自然災害時の対応



	台 風		大 雨	
	登校前	登校中	登校前	登校中
「紅」信号	午前6時時点 休 校	午前中 昼食後に下校	午前6時時点 休 校	バスの一時留置 部活動の中止 など、状況を見て判断
	休校や授業の短縮など、予定に変更がある場合には、Blend等により連絡いたします。			
「橙」信号 その他	- 関係機関の指示や状況に応じて判断いたします。 - 予定に変更がある場合については、Blend等により連絡いたします。			
その他	信号については、広州市气象台発表によります。			

未来につながる 持続可能な 広州日本人学校の創造

～ これまで そして、これから ～

